

令和6年度第1回山鹿市子ども・子育て会議 会議録（要点筆記）

会議日程

令和6年7月9日（火）午後2時00分開会

○委嘱状交付式

- 1 開式
- 2 委嘱状交付
- 3 閉式

○子ども・子育て会議

- 1 開会
- 2 「山鹿市子ども憲章」唱和
- 3 福祉部長挨拶
- 4 会長挨拶
- 5 議事
 - 1) 子ども・子育て会議について（設置目的・役割について）
 - 2) 子ども・子育て支援事業計画（第2期）事業取組実績について
 - 3) 子ども・子育て支援事業計画（第3期）の策定について
- 6 その他
- 7 閉会

出席委員（10名）

伊藤良高 委員	松本雅雄 委員	迎田浩二 委員	渡辺研一 委員
栗原昭浩 委員	福島誠四郎 委員	三浦貴子 委員	古江律代 委員
立山康隆 委員	工孝幸 委員		

欠席委員（7名）

山田原野 委員	田代桂一 委員	坂口美咲 委員	廣瀬卓三 委員
杉本真子 委員	下田由布子 委員	百田止水 委員	

事務局職員出席者

徳丸和孝 福祉部長	野満ふみ子 福祉部次長	
福祉部子ども課		
原口雄二 課長	猿渡裕一 課長補佐	原仁美 課長補佐
酒井恭子 課長補佐兼係長	前田智康 係長	平野智和 係長
野見山和子 専門員	永田代志美 主任	川本千明 主任主事

説明のため出席した者

福祉部福祉課	福祉部健康増進課	建設部建設課
大嶋明美 主任	—	茨木貴司 係長

建設部都市整備課

三浦勇人 主任主事

市民医療センター経営管理課

多久雄二 課長補佐

教育部学校教育課

西浦伸一 室長

市民医療センター医事課

田尻祐介 課長補佐

教育部生涯学習・スポーツ課

菊川知美 係長

午後2時00分 開会

【委嘱状交付式】

1 開式

事務局進行による開式宣言。

2 委嘱状交付

事務局進行により新たに就任した7名の委員を紹介し、代表して栗原昭浩委員へ福祉部長より委嘱状を交付。

3 閉式

事務局進行による閉式宣言。

【子ども・子育て会議】

○事務局進行

委員17名に対し出席委員10名であるため条例第5条第2項に規定された議事定数の2分の1以上を満たしていることを宣言。

1 開会

事務局進行による開会宣言。

2 「山鹿市子ども憲章」唱和

全員起立し「山鹿市子ども憲章」唱和。

3 福祉部長挨拶

各部の垣根を越えた政策が必要と考えており、皆様のご意見ご提言をいただき、よりよい子育て支援施策の展開につなげたい旨の挨拶。

4 会長挨拶

今後の会議のあり方、国・県の動向に加え、各委員の日頃感じていることなど、委員の皆様からの忌憚のないご意見をお願いし、良い計画を作っていきたい旨の挨拶。

○事務局進行

時間の都合上、委員及び事務局紹介を割愛し名簿及び席次表にて確認をお願いする旨の説明。

5 議事

○事務局進行

条例第5条第1項に基づき、議事の進行を会長へ依頼。

○議長（会長）

事務局に対し、議事1の説明を要求。

○事務局

議事1：子ども子育て会議について（設置目的、役割） 資料に基づき説明。

質疑なし

○議長（会長）

議事2：事務局へ第2期の事業計画と併せて事業取組実績の説明を要求。

○事務局

「子ども・子育て支援事業計画」の冊子の中身について簡潔に説明。

続いて、事業取組実績について説明。（訂正及び後日差替えの報告）

○委員

虐待・防止ネットワークの構築強化について、相談内容等の集計等行い、把握しているか。

もう一点、インクルーシブ保育の成果指標の設定について質疑

○福祉部長

虐待防止ネットワークの会議の中では子供に関するもの、女性に関する虐待、高齢者の虐待等に分けて報告している。第3期計画時は、わかりやすい形で成果指標等を設定する旨回答。

○子ども課

当初計画時は、インクルーシブ保育を、まず広めることを目標に設定されている旨回答。

○委員

小児救急地域医師研修事業、在宅当番・救急医療情報提供実施事業、病院群輪番制病院運営事業の成果指標について質疑。

○委員

小児医療・時間外小児医療の充実における現状について。また、子どもの貧困対策における学習教室について質疑。

○福祉部長

小児医療について、現状の説明。及び、成果指標として数値化できない旨説明し、実績値はアンケートの調査結果であると回答。

○委員

インクルーシブ保育の捉え方について質疑。

○子ども課

今後は、各園での取組の中で論議を交わし、検討したい旨回答。

○委員

意見として、子どもたちに支援する保育士、教諭等が疲弊している。この支援する側への支援も必要。二点目、園と学校の支援体制の充実が必要。三点目、民生委員等協力者が相談する場を知りたい。

○子ども課

今年度は配置基準の改正があり、支援が必要な子どもの数も増えている中、ゆとりのある保育ができるように、人数の確保を続けていると回答。また、相談については、こども家庭セン

ターに第一報の相談をしていただきたい旨回答。

○議長（会長）

事務局へ議事 3 について説明を要求。

○事務局

議事 3 について、現在の進捗状況とスケジュール（案）の説明。また、今後は、こども計画の策定スケジュール案等も示し、こども計画を策定する旨説明。

○委員

計画において、子ども若者、子育て中の当事者への意見聴取、意見のフィードバック等は、どのように行うのか質疑。

○子ども課

第 3 期子ども・子育て支援事業計画に向け、既にアンケートを徴取している。今後は、子ども計画策定に向け、小学校 5 年生、中学校 2 年生、高校 2 年生を対象に、子ども本人へのアンケート実施を考えている旨の回答。

○委員

実際に子どもたちの生の声を聞く場を設けてほしい。また、読んでみたくなる計画書の策定を望む意見。

○議長（会長）

アンケートだけでは物足りない旨意見。

○副会長

最後にまとめとして、いろんな視点で各委員の皆様から、今後の計画に関して貴重なご意見がたくさん出たと思う。特に、外国にルーツを持つ方々の課題、少子化や高齢化の課題の中、社会的課題を解決するために、どれだけインクルーシブに受け入れるのか、セーフティネットの大切さを感じた会議であった。

6 その他

特になし。

7 閉会

事務局進行による閉会宣言

午後 3 時 3 0 分 閉会